

## 評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年7月23日

事業所番号	2772401788	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	有限会社 なかよし		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム なかよし	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	枚方市東香里元町4番13号	評価調査日	平成 21 年 7 月 16 日
	電話 072-853-5211	評価確定日	平成 21 年 7 月 26 日

【情報提供票より】 (平成21年6月30日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成15年1月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	6 人
職員数	常勤 6 人	非常勤 3 人	常勤換算

## (2) 建物概要

建物の構造	木造 2階建ての(1階～2階部分)
-------	----------------------

## (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	4, 2万円から	その他の経費 (月額 24, 500円)		
敷金	無 ( )			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 20万円	償却 無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1, 533円	

## (4) 利用者の概要 (6月30日現在)

利用者人数	6名	男性	0名	女性	6名
要介護1	2名	要介護2	3名		
要介護3	0名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 87才	最低	76才	最高	96才

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	東香里病院 山本内科 三上歯科
---------	-----------------

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

運営者は、過去6年間の運営経験を活かした理想的な新設計で、利用者6名のホーム建物を同じ町内に新築し、移転した。新しい建物は、日照、通風が良く、共用居間も広くなり、利用者は毎日、快適な生活を送っている。特に、防火、安全対策も新基準に合わせている。その上、職員は1人を除き他は5年以上の勤続者9名で、安定した楽しく和やかな雰囲気ホームである

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	運営者は、職員のレベルアップと勤続を重視して育成して来たので、この1年は退職者もなく、職員もそれぞれが、介護向上の意欲を持って資格取得の研修に努めている。又、介護計画については運営者、計画作成者と職員とのカンファレンスで一人毎の計画作成を進めている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	運営者は前回の評価後、職員と介護向上について、職員との定例会議の度に検討課題として来た。今回は計画作成者の下書きを基に、職員と十分に検討を重ねて作成している
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月毎に開催しているが、主な討議内容はホームの取り組み状況の報告、委員の情報提供や懇談等である。又、運営者は地域の方々に、認知症についての理解を深めて頂けるよう、日頃から話し合いと働きかけを心がけている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	運営については「なかよし通信」を毎月発行し、日頃の生活や行事等を写真で紹介して情報を提供しており、ご家族のアンケート調査の集計でも、6名(全員)のご満足を頂いている。尚、運営者、管理者、職員一同は毎日、暖かい配慮で介護を進めており、全員が更なる介護の向上に取り組んでいる
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営者は、移転以前から地域へのPR活動のため「なかよし便り」を定期的に発行して、地域の方々への回覧を実施して来ている。更に、高齢化社会の到来に関して、地域の理解が進みつつあり、従来通り、盆踊り、神社の祭礼やイベント等への参加も、適宜に行われている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「普通の家で、普通の暮らしを」の理念を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者を始め職員一同は、理念の実践に取り組んでいる		
<b>2 地域との支えあい</b>					
	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	6年前の開設から、運営者は地域に溶け込む努力を続けて来ている、昨年、地域内で新築をしたが従来通りの交流に努めている		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者を始め職員一同は、毎回、外部評価の意義を理解して日常の改善に取り組んでいる		
	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月毎に開催しているが、ホームの報告を基に、検討と、委員からの情報交流が進められ、介護向上に役立っている		
	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市のご担当者との交流を始め、福祉関係の各種施設とも交流が出来ている。又、施設委員会の役員にも携わって、積極的に市に協力している		
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	写真入りの「なかよし通信」を毎月、ご家族に郵送し、日頃の生活や行事などを紹介している。そして、支払い等で来訪された際には詳細の説明をしている		
	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、ご家族来訪時には丁寧な対話、介護相談員の聞き取り等が行われており、特に、ご意見や苦情は、お聞きしていない		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている		

	10	19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている		
	11	20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている		

### 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している		
--	----	----	--	--	--

### 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている		
--	----	----	---	--	--

## Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

### 1 一人ひとりの把握

	14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		
--	----	----	---	--	--

### 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している		
--	----	----	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	設定期間や、本人の変化に対応して見直しを行い、ご家族、職員、医師、関係者と話し合っ て新計画を作成している		
<b>3 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、ご家族の状況に応じて、 適宜、柔軟な支援をしている		
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られた、かかりつけ 医と、事業所の関係を築きなが ら、適切な治療を受けられるよ うに支援している	掛かり付け医師、訪問看護師等 との連携を図り、本人の症状に 応じて柔軟な支援をしている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり 方について、できるだけ早い段階 から本人や家族等ならびに、かか りつけ医等と繰り返し話し合い、 全員で方針を共有している	終末期の対応は過去にも実施し ているので、必要な本人、ご家 族等の同意書を作成している。 又、医師、職員とも方針を共有 できる体制が出来ている		
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1 その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシー を損ねるような言葉かけや対応、 記録等の個人情報の取り扱いをし ていない	権利擁護、虐待、プライバシー 確保等、職員は十分に配慮して いる		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先する のではなく、一人ひとりのペース を大切に、その日をどのように過 ごしたいか、希望にそって支援 している	食事時間や、組織的な決まり以 外は、柔軟な対応をしている		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、 一人ひとりの好みや力を活かし ながら、利用者と職員が一緒に 準備や食事、片付けをしている	多彩な献立づくりが出来る職員 が居て、季節、記念日、その他 に応じて、楽しい食事を提供し ている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>基本的に入浴は、夏のシャワーも含めて、柔軟な対応をしている。そして、ゆず湯や菖蒲湯等の安らげる入浴支援を工夫している</p>

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>一人ひとりの生活歴に合わせた楽しみごと、DVDでの楽しみや、カラオケ等で過ごしている。又、日本画に優れた才能の利用者の、大型の日本画が玄関横に掛けられている</p>
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>天候に合わせて出来るだけ散歩をしている上、買物や、事情によっては、墓参の支援もしている</p>

## (4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>日中は玄関の鍵は掛けていない。玄関ドアを開けるとチャイムが鳴り、職員が出入りの確認を容易に出来るように工夫している</p>
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>新施設は最新の防災設備を採り入れおり、消防署とは緊急回線を設置している。移転後は未だ月数が少ないので、近隣の緊急時の協力は分からないが、運営者が地域との交流については、特に配慮しているので経過を待ちたい</p>

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>水分の把握は出来ている。献立のカロリーの目安として、健康状態を把握しているが、医師との相談と体重測定は定期的に行っている</p>
--	----	----	---	--	---

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>新設計の居間で、日中は殆どテーブルやソファで、楽しく夫々の時間を過ごしている。採光、温度管理も問題なく出来ている。又、関係者の幼児達の訪問も度々あり、利用者は大喜びされている</p>
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>各個室も新築の部屋なので問題なく、家財、仏壇も入れ、居心地よく過ごしている</p>